

令和7年度 第1回

千葉県DXアドバイザー会議 会議資料

議事：

(1) 千葉県デジタル・トランスフォーメーション
推進戦略（1.1版）（原案）について

(2) その他



(1)千葉県デジタル・トランスフォーメーション 推進戦略（1.1版）（原案）について

- ① 戦略策定後の取組状況
- ② 県におけるAI・生成AIの活用について
- ③ 戦略の改定について

① 戦略策定後の取組状況

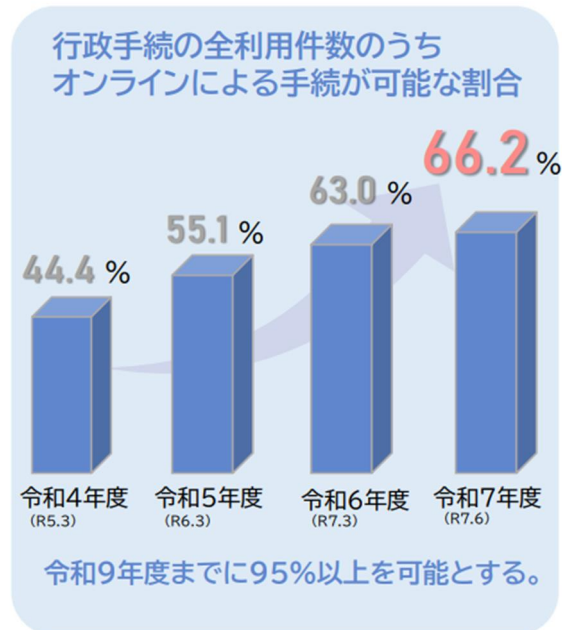
R 6 年度取組状況、R 7 施策集等からの抜粋

■庁内各部署DX関連施策

- ・ 庁内部局庁ごとの「DX推進リーダー」の設置、デジタル改革推進局による、DX施策検討支援
- ・ R5:200施策 → R7:278施策
- ・ 毎年度の「DXの取組状況」公表で、県民への成果の見える化も進める

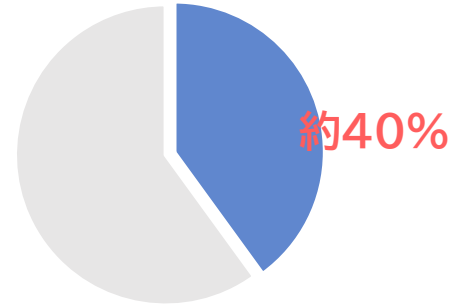
■行政手続・サービスのデジタル化

・行政手続のオンライン化率



・キャッシュレス決済

現在、収入証紙で収納している
手続のうち、約40%において
キャッシュレス決済が対応可能

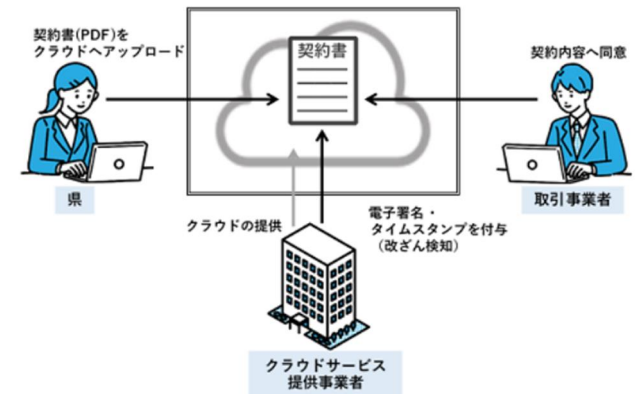


(収納件数ベース、R6実績)

・令和6年度電子契約本格導入

電子契約締結数 R6:4,711件

(電子契約のイメージ)





① 戦略策定後の取組状況 R 6 年度取組状況、R 7 施策集等からの抜粋

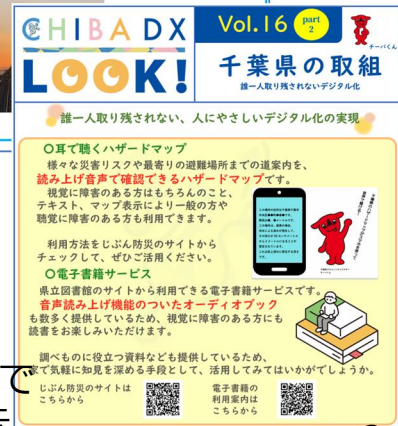
■その他

【オープンデータ】

- ・データ公開数 R4:971項目 → R6:1,355項目
- ・アイデアソン・ハッカソンの開催、民間の副業人材「オープンデータ利活用推進員」
- ・「新規オープンデータサイト」構築中

【DX広報の強化】

- ・R6.12「ちばDXポータル」開設
開設から11か月で約46,000件アクセス
(開設前と比べ、月平均で約10倍超)
- ・千葉県のDXの取組を紹介する「CHIBA DX LOOK！」
X・LINEでこれまでに22本の記事を投稿



千葉県広報Xで
2.3万回表示

① 戦略策定後の取組状況

R 6 年度取組状況、R 7 施策集等からの抜粋

■ その他

【市町村DX推進への支援】

外部専門人材による直接訪問やオンラインでの技術的な助言、DX推進に向けた連絡調整会議
担当者ミーティングの開催（R4～R6：計22回）、研修（R5～R6：8回）の実施、
スケールメリットを活かしたデジタルツール・オンライン研修の共同調達

【庁内における取組】

- ・デジタル人材育成 議題(2)で詳細説明
- ・副業人材の採用 DX広報デザイナー、オープンデータ利活用推進員等、
R4から延べ4名
- ・オフィス改革の推進 R6年度 基本方針策定、R7年度 本庁6所属で実施
- ・デジタルを活用した業務改善 電子決裁推進、外部専門人材を活用した業務改善支援（R5～R6：125件）、
RPA等での業務時間削減 R6：約5、600時間
- ・生成AIの活用 P6ページ以降で詳細説明



（オフィス改革）
フリーアドレス、MTスペース、高集中スペースの導入



② 県におけるAI・生成AIの活用について

人口減少により自治体職員も減少が見込まれ、業務が高度化する中で専門人材の確保も困難化。A I 活用等含めた、D Xによるスマート自治体への転換が必要。

各部局事業におけるA I の活用

■ R 7 年度施策集 A I 活用事業 9 件

- ・ 生成A I を活用した福祉相談窓口案内
- ・ 防災対策事業（S N S 緊急情報リアルタイム配信）
- ・ I C T を活用した児童相談所業務改善事業
- ・ 交通量調査におけるC C T V カメラ画像のA I 解析
- ・ 無人航空機による河川点検の効率化
- ・ 次世代につなぐ梨産地育成事業
- ・ 設計図書整合性チェックシステムの試行導入等

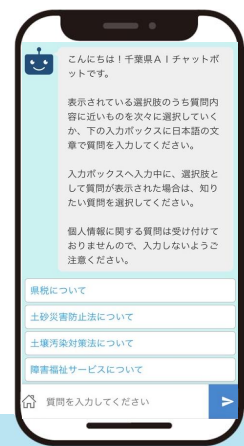
■ 県民向けA I チャットボットの活用

自動車税、土砂災害防止法、N P O 法人制度、障害福祉サービス、
食品衛生、警察業務、教育関係、職員採用関係等

(参考) D X 戦略施策集におけるA I 活用事業

年度	施策集事業	AI活用事業
R 7	2 7 8 件	9 件
R 6	2 5 2 件	9 件
R 5	2 0 0 件	7 件

※AIを主として活用する事業に限る
上記のAIチャットボットを除く



各部局事業における A I の活用

② 県におけるAI・生成AIの活用について

庁内業務への生成 A I の活用

「千葉県生成 A I 利用サービス」

■ サービスの特徴

- ・ 全職員が利用可能であり、職員以外のアクセス不能
- ・ 専用環境による入力データの保護
- ・ 入力内容が学習されない情報漏洩対策を実施済み
- ・ 登録した県独自のデータを優先的に検索し回答を生成することが可能※

※RAG機能（検索拡張生成）：通常のデータに加え、特定の庁内文書などのデータからの検索結果を組み合わせることで回答を生成

■ 庁内業務における利用実績

- ・ 令和6年2月の利用開始から令和7年10月までで、県職員の約1万人が利用

主な利用例）文書作成補助、文書の要約、イベントや広報などの企画内容のアイデア出し、Excel関数やVBAの作成、財務やサービスの取扱いに関する職員からの問合せ対応 等

■ 更なる活用に向けて

- ・ 職員の活用推進

（庁内ポータルサイトの作成、若手職員の創意工夫WG（全6回）、セミナー・ワークショップの実施）



庁内生成AIポータル

生成AIユースケース創出 ワークショップ



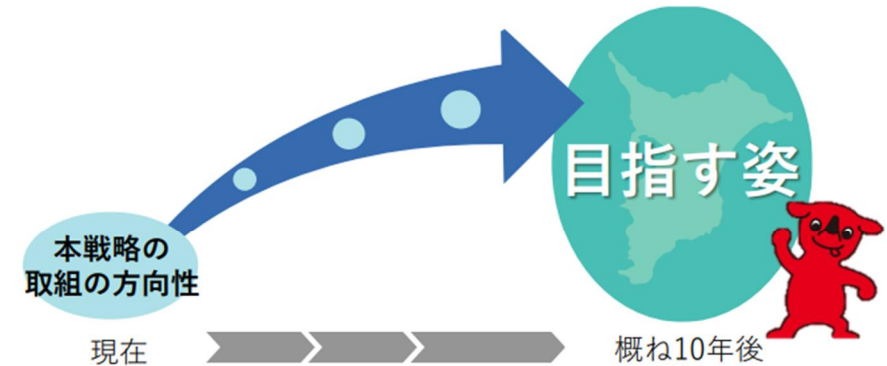
※配付PC利用職員数 約1万4千人

③ 戦略の改定について

令和5年3月 「千葉県デジタル・トランスフォーメーション推進戦略(以下、DX戦略)」策定



令和7年10月策定の千葉県総合計画の反映、
AIの進展・普及や県における活用の推進、
DXの「X(変革/価値創造)」に対する取組の加速へ



DX戦略(1.1版)として一部見直し、原案を作成

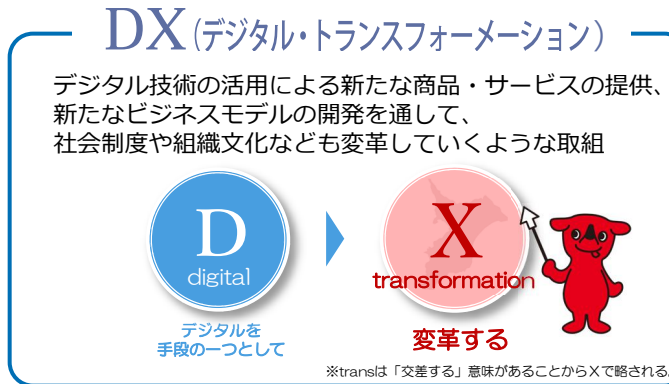
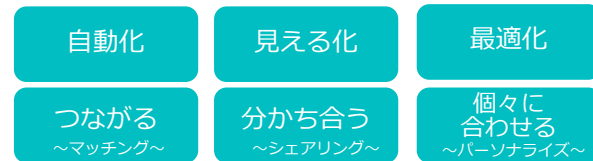
千葉県デジタル・トランスフォーメーション推進戦略（1.1版）原案 概要

戦略の趣旨

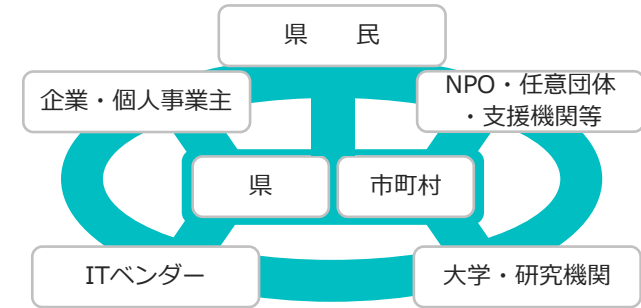
- ① **安全・安心で便利な**千葉の暮らしをつくる
- ② **個性と能力を十分に発揮できる**環境をつくる
- ③ **千葉らしさ**を伸ばし、地域に活力を生み出す

県だけでなく、市町村や民間団体など様々な主体がともにDXの推進に取り組んでいくため、目指す姿とその具体像、実現に向けた取組を共有するもの。

デジタルの可能性



可能性が広がる
多様なニーズに対応
新たなサービス・ビジネスや価値を創出
必要なサービスが必要な時に
など



県は、市町村や企業・団体、県民等と戦略を共有し、相互に協力しながら、共に、地域課題の解決や新たなサービスの創出に向けて取り組む。

DX推進により目指す姿

デジタルのチカラで創る 県民の心豊かな暮らしと活力ある千葉



デジタルの持つ大きな可能性を生かすとともに、誰もがその恩恵を享受することで、

- ▶ 個人：一人ひとりの可能性が広がり、県民が個性と能力を発揮し、思いを実現
- ▶ 社会：変革を通じた新しいサービスや価値の創造により、地域や産業が活性化

『暮らし』 あらゆる人が暮らしやすい社会

- ① **危機管理**
県民の生命が確実に守られる体制
- ② **安全・安心**
安全で安心な生活環境
- ③ **医療・福祉**
健康やかに、自分らしく暮らせる環境
- ④ **こども・若者**
全てのこども・若者が健全に成長
- ⑤ **社会資本・まちづくり**
安全・安心かつ快適な暮らし
- ⑥ **環境保全**
自然豊かな生活環境、持続可能な社会

『仕事・生きがい』 誰もがどこでも能力を発揮できる社会

- ① **働き方**
ライフスタイルに合った働き方
- ② **社会参画**
誰もが社会に参画し、社会の活力が向上
- ③ **学習機会**
時間と場所を選ばない学習機会
- ④ **文化芸術・スポーツ**
自己表現、能力発揮、社会参加の促進

『産業』 地域経済が活性化している社会

- ① **産業振興・中小企業**
起業・創業、経営基盤の強化
- ② **農林水産業**
農林水産業の更なる発展
- ③ **建設産業**
建設産業の持続的な発展
- ④ **観光**
誰もが何度でも訪れる観光地づくり
- ⑤ **物流・交通網**
人やモノの流れの活発化
- ⑥ **カーボンニュートラル**
実現に向けた着実な取組の推進

『行政』 スマート自治体を実現した社会

- ① **行政サービス**
ニーズに合ったきめ細かな行政サービス
- ② **データ活用**
新たな付加価値の創出

AI・生成AI活用の拡大

・AI関連技術は日々発展しており、産業における価値創造や社会課題の解決に活用されている。
・特に生成AIが事業者・自治体と様々な分野で活用が広がっている。
・リスクを正しく認識し、安全安心に活用を推進することが重要。

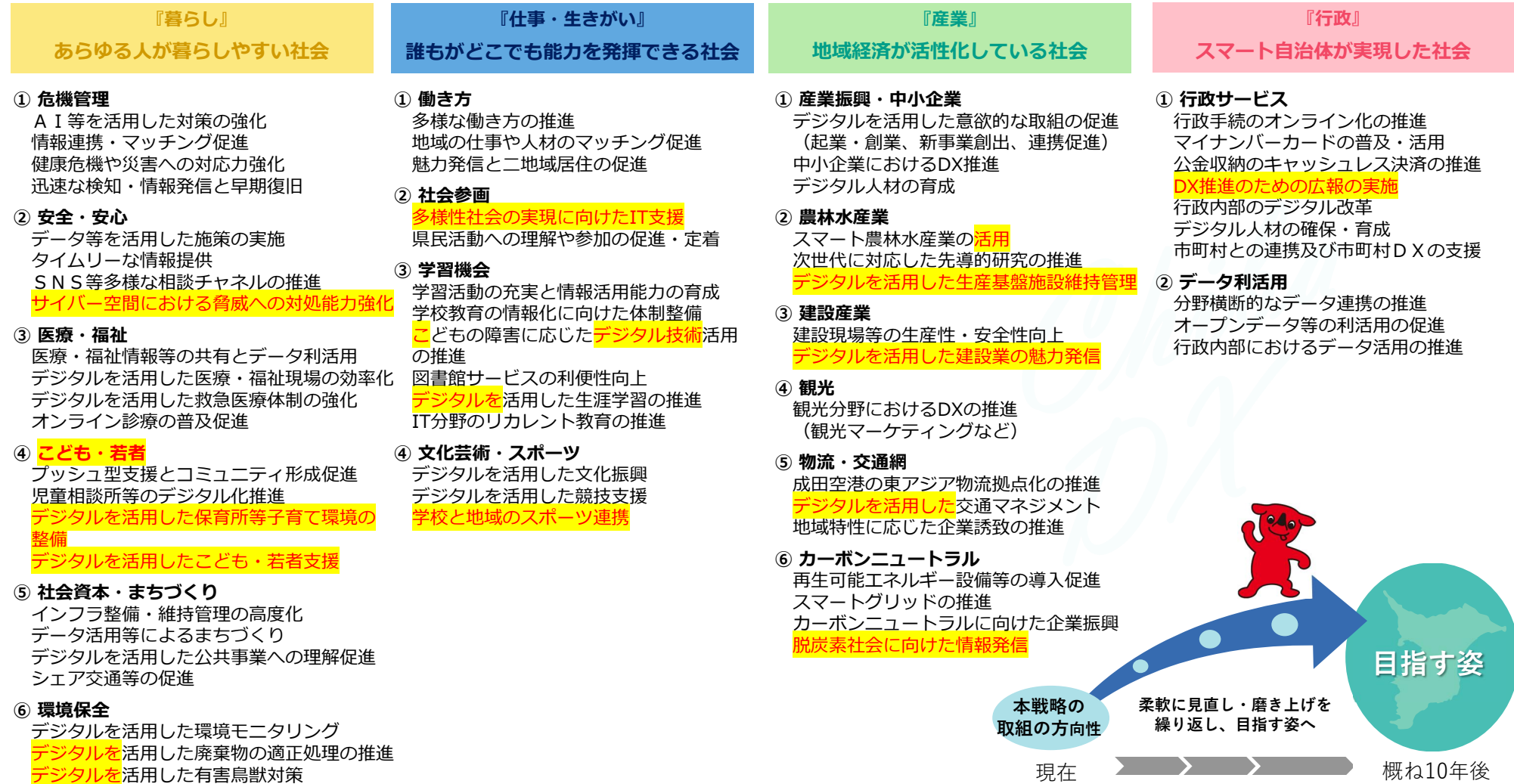
目指す姿の実現に向けた当面の取組

目指す姿に向けて一体となって取り組むため

D「X」（変革/価値創造）の理念、考えの浸透

デジタルの活用による利便性を実感するため
各分野におけるデジタル技術の実装を加速化

県民サービスの向上と行政運営の効率化のため
行政におけるDXを強力に推進



推進を支える土台づくり

①意識の醸成・人材育成

②共創の機会の創出

③デジタル技術の活用の環境整備

推進に当たり留意すること

①「人」が主役のDXの推進

②「共に」進めるDXの推進

③実効性の確保

④個人情報の保護と情報セキュリティの確保

③ 戦略の改定について

スケジュール

令和7年11月20日	パブリックコメントの実施(～12月22日) 市町村等への意見照会
12月10日	第1回アドバイザリー会議の開催
12月～	各御意見等を踏まえた検討
令和8年 3月中	第2回アドバイザリー会議の開催 DX戦略(1.1版)の策定

(2) その他

- ① 千葉県デジタル人材育成等実施方針の策定
- ② オープンデータ アイデアソン・ハッカソンの開催

① 千葉県デジタル人材育成等実施方針の策定

千葉県デジタル人材育成等実施方針 概要

実施方針の位置づけ

- 『千葉県デジタル・トランスフォーメーション推進戦略』
- 『千葉県職員人材基本方針』(以下、戦略)に基づきデジタル人材の育成等に関して示すもの。

デジタル人材像について

戦略の目指す姿の実現に向け**全ての職員をデジタル人材として育成**

- 3つのデジタル人材像を設定
 - 一般職員(職位職責でマネージャー・リーダー・担当者に区分)
 - DX推進人材(DX推進部局職員・DX推進リーダー・DX推進員)
 - 高度専門人材(外部人材で確保)

デジタル人材の育成について

デジタル人材のスキルを定義し、習得に向けた研修を実施

- デジタルスキルを6系統に分類・**デジタルスキルマップ**の作成
- デジタルスキルの習得に向けて年度ごとに**研修計画**を作成
- デジタル分野と行政実務の専門性のいずれも向上させながらキャリアアップを図ることを示した**キャリアパス**の作成

庁内の推進体制について

実施主体が連携し育成の取組の実施

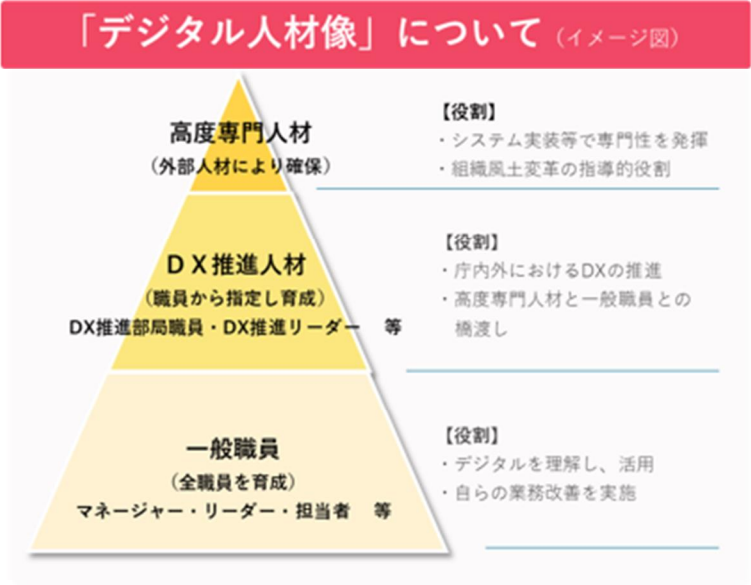
＜実施主体＞人事課・デジタル戦略課・デジタル推進課・統計課

DX推進に関する庁内横断組織である「DX推進委員会」を通じ推進

市町村の支援について

市町村デジタル人材の育成・確保について支援

- 育成：研修の共同調達などの取組を実施
- 確保：高度専門人材の確保支援などを実施



【デジタル人材が身につけるべきデジタルスキル項目】

スキル系統	概要	スキル項目
戦略・マネジメント	DXの取組において、目標設定から導入、導入後の効果検証までを一貫して行うためのビジョンの策定や関係者をまとめ、目標まで推進するための能力。	変革マネジメント、BPR 等
デザイン	県民・事業者や職員などの利用者の視点等を総合的にとらえた上で、システム等の方針や開発プロセスを策定し、それらに沿ったサービスのあり方のデザインを行う能力。	サービスデザイン、UI・UX 等
データ活用	エビデンスに基づく効果的な施策の企画や立案、改善を行うため、データの取得から分析までの一連の取組を実施し業務に活用する能力。	データ取得、データ加工、データ可視化、統計分析
テクノロジー	デジタル技術を活用したサービス等を提供するためのシステムやソフトウェアの設計や導入、導入後の運用時において仕組み等を理解し、発注や指示等を行う能力。	システム企画・調達・運用 等
セキュリティ	業務における情報セキュリティリスクへの対策を行う能力。	サイバーセキュリティ、インシデント管理 等
パーソナルスキル	DXの推進において、多様な人材と協働し、目標の達成や新たな課題の解決に向けて取り組む能力	リーダーシップ、ファシリテーション 等



② オープンデータ アイデアソン・ハッカソンの開催

■ 県内大学生等対象「ちばオープンデータ アイデアソン・ハッカソン CODIHA」を開催

- ・ オープンデータの活用に向けた機運の醸成と人材育成のためR5から実施
- ・ 今までのアイデアソンに加え、新たにハッカソンも開催し、今年度は、計4会場で総勢71名・22チームが参加
- ・ 優秀チームの発表テーマ（抜粋）
『浦安ごみマップ×多言語マナー啓発』…多言語によるごみマップやポイント制アイデア
『そだつなら』…中小企業と学生をつなげるビジネスプラットフォーム

■ 優秀なアイデアを提案したチームの公開プレゼンテーションと、様々な主体とのネットワーク構築を目的とした「交流会」も開催

- ・ サポーター企業からサポーター賞を授与
- ・ 学生、県、市、企業、関係団体など約70名が参加



(今後の検討課題)

- ・ 更なるオープンデータの整備が必要
- ・ 学生のアイデア等を実装まで到達させる仕組み